

探究する生徒を育てる理科授業

—デューイの探究論を基に理論と実践の往還を通して—

教育実践高度化専攻 教科指導重点コース 理数・自然科学系（理科）

船津珠希

学習指導要領の改訂(2018)において、文部科学省は「これからの社会がどんなに予測困難な時代になっても自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現してほしい」という願いを込めたとしている。今後の時代を見据えた時、先が読みにくい時代だからこそ、自ら課題を見つけ、解決し、さらなる課題を見い出していく探究する力が重要になると考える。

本研究では、探究し、生活に生かす生徒や結果を深く考察し、解決の検討や練り上げることのできる生徒を育成するために、デューイの探究論をもとにした手だての効果について検証した。デューイの探究論とは、問題発見、研究、考案、議論、振り返りの5つの過程で構成される。この探究の過程を基に学習することで、座学だけでは得ることのできない経験を探究を通して体験でき、楽しみながら子どもが見通しをもって学習に取り組めるという利点がある。

本研究の手立てによって、探究する生徒や結果を深く考察し、解決の検討や練り上げることに効果があり、目指す生徒像の実現に近づいたと考える。